

報道関係者各位

2020年9月24日

株式会社 ZOZO テクノロジーズ

慶應義塾大学

ZOZO テクノロジーズと慶應義塾大学 ファッションに特化した IoT ノード開発および グラフィカルユーザーインターフェースの 設計に関する共同研究を開始

～ ファッション性を重視した IoT 製品の普及を見据えた、
設計プラットフォームの構築を目指す ～

株式会社 ZOZO テクノロジーズ（東京都渋谷区、代表取締役社長：久保田竜弥、代表取締役 CINO：金山裕樹以下、ZOZO テクノロジーズ）と、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科（横浜市港北区、研究科委員長：稲蔭 正彦 以下、KMD）は、ファッション性に特化した IoT ノードの開発および、その取り付け位置や機能を設計するスマートウェア開発環境に関する共同研究を開始いたしました。

本共同研究では、ZOZO テクノロジーズが保有するファッションやスマートウェアに関する知見と、KMD のデザイン思考や製品化のための顧客価値創出プロセスをかけ合わせ、よりファッションに特化した IoT デバイスのデザインや機能に関する要素の明確化を目指します。あわせて、ファッションデザイナーやエンドユーザーが取り扱いしやすいスマートウェア設計のソフトウェアとハードウェアに関する研究を進めてまいります。

研究背景

近年、スマートウォッチや AR メガネなどに代表されるウェアラブルデバイスが普及しつつあり、衣服に様々な機能を統合したスマートウェアも数多く提案されています。しかし、スマートウェアに搭載されているウェアラブルデバイスの多くは、ユーザーの動きや生体信号の取得など特定の機能を使用するため、見た目や構造への制約も多く、デザインの自由度が課題となります。また、通常はデバイスを衣服に埋め込むために従来の衣服制作とは異なる設計や処理が必要となり、ファッションブランドが独自で開発を行うことや、ユーザーによるカスタマイズが困難であることも、機能とファッション性の両立を妨げる一因と考えられます。

通常の衣服と同様、自由にファッションアイテムとして楽しむことができ、より快適な着用感のスマートウェアを実現するには、衣服からの着脱可能かつ感度の高い小型デバイスの開発が必要です。これにより、デザイナーやエンドユーザーが自由に創作に取り入れ、またコーディネートの一部として組み合わせることが可能となります。その結果、デザイナーやユーザーが独自に新たな利用シーンを開拓し、スマートウェアの社会普及が推し進められることが期待されます。

本共同研究では、こうした課題に技術とデザインの両面から取り組み、解決を目指します。ファッションアイテムの見た目への干渉が少ない各種 IoT ノードと、それらの機能をデザイナーやユーザーが手軽に開発できる設計環境の開発により、既存のスマートウェアが達成できていない、「ファッションアイテム」としての自由な組み合わせと、スマートウェアが持つ機能のカスタマイズ性の両立を目指します。

研究内容

■ファッションアイテムの見た目に溶け込む各種 IoT ノードの開発

ファッションアイテムにセンサーやアクチュエータなどの機能を実装した小型デバイスの開発を行います。これらの開発したデバイス間のデータのやりとりや充電方法、配線のあり方について、ユーザーの服飾習慣に調和するソリューションをデザインと技術の両面より探索します。

■デザイナーやユーザーが手軽に開発できる設計環境の開発

ウェアラブルプロダクトの開発者以外でも、これらの機能を手軽に実装できるソフトウェアのプロトタイプや、本システムを通じて作成したプロダクトのユースケース探索などを行います。具体的には、提供するプラットフォームを用いてデザイナーやユーザーが簡単に開発することができ、自身の希望に寄り添ったカスタマイズが可能となるデバイスの設計を目標とします。

今後の展望

将来的には、ファッションブランドとのコラボレーションも見据えた設計開発環境の実用化も検討していきます。

両者ではテクノロジーを用いてファッションをより楽しく、便利にしていくために、ファッション性に優れたスマートウェアをより多くの方が実装できる環境の構築を目指します。

共同研究概要

■課題名

ファッションに特化した IoT ノード開発およびグラフィカルユーザーインターフェースの設計

■共同研究チーム

・株式会社 ZOZO テクノロジーズ：ZOZO グループに所属するエンジニア・デザイナーなど制作に携わる全ての技術者を集結させた ZOZO グループのサービス運用・技術開発部門となる企業です。また、ZOZO テクノロジーズの研究部門として「ZOZO 研究所」を運営しており、ミッションである「ファッションを数値化する」ために研究を進めています。

・Future Crafts Project：慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科山岡潤一専任講師が主宰するプロジェクトチームです。デジタルアプリケーションや HCI (ヒューマンコンピュータインタラクション) をテーマに、幅広く様々な研究を実施しています。

【本リリースに関するお問合せ】

株式会社 ZOZO テクノロジーズ広報担当 E-mail : press-zozotech@zozo.com

慶應義塾広報室（担当：並木） E-mail : m-pr@adst.keio.ac.jp



株式会社 ZOZO テクノロジーズ <https://tech.zozo.com/>

所在地 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-52-2 青山オーバル・ビル 3F
代表者 代表取締役社長 久保田 竜弥 / 代表取締役 CINO 金山 裕樹
設立 2018年4月1日
資本金 280,000千円